



たかなし

校訓「尚志」「知新」

第64号 令和5年2月20日



学校評議委員会

先週16日に第2回学校評議委員会が行われました。参加者は「須田〇〇様、室谷〇〇様、高橋〇〇様、伊藤〇〇様、小松〇〇様」の5名でした。今回は授業参観は実施せずに「今年度の学校経営」と「今年度の自己評価」、「児童や地域にかかわる情報交換」という内容でした。次に会の中で話題になった点をいくつかご紹介させていただきます。



- ◇あいさつが素晴らしい。遠くからでも元気にあいさつしてくれて、元気をもらえる。あいさつ日本一を目指して、がんばってほしい。
- ◇今後も地域とのつながりを大切にされた学校づくりをしてほしい。
- ◇コロナをバネにしてくれる子どもたちを育ててほしい。
- ◇家庭からの協力を得て「早寝 早起き 朝ご飯」100%目指してほしい。
- ◇自己肯定感、自己有用感は、「自分をいたわること」ではないか。
- ◇昔は親父と目が合うと何か頼まれた！家族の一員として役割を与えて「お手伝い」を習慣化させることによって育まれる自己肯定感、自己有用感もあるのではないか。
- ◇地域の方々に本当によくしてもらって感謝している。
- ◇マスク生活で感情表現が上手にできない子どもたちもいるのではないか。
- ◇コロナ禍だから見えてきた前向きな取組に感謝している。来年度は保護者と学校のコミュニケーションがとりやすくなると思うので、更なる充実を期待する。



評議員の皆さんのお考えや発言から皆一様に「高梨小学校とその児童、そして地域が大好き」で、「心から本校のことを応援」してくれていることを再認識しました。今後も「児童・保護者(地域)・学校(教職員)が三位一体」となった教育活動を展開していきたいと思っております。ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

学校評議員とは～学校運営に関して意見を述べる人員のことである。学校評議員の制度は、地域社会に開かれた学校づくりを一層推進していくため、保護者や地域住民などの相互の意思疎通や協力関係を高めるために設けられた。

「ありがとうございました」

先週の16日で今年度の図書ボランティアの皆さまが活動を終わられました。最近には図書室で読書に親しむ児童も多く見られます。これも図書ボランティアの皆さまの図書室の環境づくりのおかげと感謝申し上げます。

◎令和4年度図書ボランティアの皆さま【熊谷〇〇様、高橋〇〇〇様、長岩〇〇様】